

燃料消費量計算書

●入力フォームに記載の設置先名が表示されます。

【別紙9-1】

1. 取付予定の災害バルク

設置先名：○○○○○○○○○○

規格	容量		基			総容量kg
990kg横型	990	×	1		=	990
50kg	50	×	6		=	300
					=	
合計 I						1,290
残量50%						645

- 入力フォーム5.「補助対象LPガス設備の明細」に記載されている内容と同じ記載をしてください。
- シリンダーの場合「50kg」と記載すること。
- 複数の貯槽を設置する場合で、配管を接続せず個別経路とする場合は、「合計1枚」でなくそれぞれの経路毎に計算書を作成する。

2. 災害時

種類	規格	消費量(kg/h)		3日使用する時間		台数		総消費量kg
設置型発電機	単相8.0/9.9KVA	0.60	×	72	×	2	=	86.4
GHP【室外機】	自立型20馬力	1.50	×	72	×	4	=	432.0
コンロ		0.8	×	8	×	3	=	19.2
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	
			×		×		=	

●入力フォーム5.「補助対象LPガス設備の明細」記載内容、見積書とも一致させること。

●定格消費量ではなく、実態に合った消費量を記載する(発電機・GHPは安定運転時消費量)

●発電機・GHPは、(別紙10)運用書の記載内容に沿った稼働時間を記載。他の設備は使用実態に合った稼働時間を記載すること。

●既存保有ガス機器を災害時に活用する場合は、災害時に使用するガス機器全てを、記載すること。

●ここがマイナスになったらNG! 選定したバルク・容器の容量が足りない。

○○Kw ÷ 14 = 消費量 (kg/h) 例) 10.5kw ÷ 14 = 0.75kg/h		合計 II	537.6
注) 設置機器の消費量は定格である必要はない	残量50%	合計 II	107.4

※ LPガス残量(備蓄量)が設置機器の総消費量を上回ることが要件となります。また、3日間の中で使用する時間は、実態にあわせた時間を記載してください。